

研究機関：広島大学

研究課題名	人工膝関節置換術におけるIPACKブロックの有用性の検討
研究責任者名	広島大学大学院医系科学研究科麻酔蘇生学 教授 堤 保夫
研究期間	2022年7月(倫理委員会承認後)～2025年3月31日
対象者	2021年4月から2023年3月の間に、広島大学病院で人工膝関節置換術を受けられた患者さん。
意義・目的	人工膝関節手術の際には、全身麻酔に加えて神経ブロックを行います。近年、IPACKブロックの有効性が報告されています。従来の神経ブロックよりも患者さんの負担が少なく、安全に行える可能性があります。今回、従来の神経ブロックとIPACKブロックを比べ、IPACKの有用性を明らかにすることを目的としています。
方法	本研究は、診療録(カルテ)情報を調査して行います。 カルテから使用する内容は身長、体重、BMI、年齢、性別、ASA、麻酔記録、周術期が合併症、痛み、足/膝関節運動の可否、合併症です。 (個人を特定可能な情報は解析に用いません)
共同研究機関	なし
試料・情報の管理責任者	広島大学大学院医系科学研究科 麻酔蘇生学 教授 堤 保夫
個人情報の保護について	調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。 研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。
問合せ・苦情等の窓口	〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 Tel: 082-257-5267 広島大学病院 麻酔科 医科診療医 石井友美